

主要耐久消費財の保有状況 ……………

この速報は、昭和59年9月から11月の3ヵ月間実施した全国消費実態調査の調査事項のうち、主要耐久消費財の保有状況についての結果を統計局においてとりまとめたものであり、本県の結果については次のとおりである。

1. 2人以上の普通世帯(全世帯)

(1) 大幅に増加した高性能商品

本県・全世帯の主要耐久消費財の所有数量は、総じて、54年に比べ伸び率は小幅となっているものの、引き続き増加傾向を示している。

なかでも、冷暖房兼用のルームエアコン、温風ヒーター、音声多重放送受信カラーテレビ、ビデオテープレコーダーなどの高性能の耐久消費財は著しい増加をみせている。

各主要耐久消費財の動向は次のとおりである。

(2) 整理だんす、食器戸棚・サイドボード・茶だんすは1世帯に2台

整理だんす及び食器戸棚・サイドボード・茶だんすの1,000世帯当たりの所有数量(以下、「所有数量」という。)は、それぞれ、2,261台、2,060台で、主要耐久消費財の中で最も多い所有数量となっており、ほぼ1世帯に2台所有していることになる。(表-1)

(3) 電子レンジは2世帯に1世帯が所有

電気冷蔵庫、電気洗濯機及び電気掃除機などの主要耐久消費財は、それぞれ、必需品として行き

わたったこともあって、他の耐久消費財に比べ所有数量が高くなっている。これらの耐久消費財は、おおむね1世帯に1台の所有となることから所有数量の伸びは昭和54年に比べ小幅となっているが、機能などによって所有数量に変化がみられる。すなわち、電気冷蔵庫では、内容積200ℓ以上の大型のものが54年に比べ11.5%増加したのに対し、200ℓ未満の小型のものは、13.9%の大幅減少となっている。

一方、他の一般家事用品についてみると、電子レンジの所有数量は、531台で、54年に比べ91.1%上昇し、2世帯に1世帯の普及になっている。(表-2)

(4) 普及の目覚ましい温風ヒーター、ルームエアコン

扇風機、電気ごたつ、石油ストーブの所有数量は、それぞれ1,770台、1,733台、1,771台となっており、これらの普及率が90%以上と高いこともあって、昭和59年の増加率は、それぞれ4.0%増、5.6%増、1.8%増といずれも54年に比べ鈍化して

表-1 家具類の1,000世帯当たり所有数量、増加率及び普及率—茨城県・全世帯

品 目	所 有 数 量				増 加 率 (%)			普及率 (%)
	昭 和 44 年	49 年	54 年	59 年	49/44	54/49	59/54	
和 だ ん す	2,513	1,439	1,401	1,376	13.3	△2.6	△10.6	87.8
整 理 だ ん す		1,407	2,057	2,261		46.2	7.9	95.3
洋 服 だ ん す	1,193	1,499	1,549	1,605	25.6	3.3	0.8	95.2
ベ ッ ド	285	468	629	718	64.2	34.4	18.8	46.2
応 接 セ ッ ト	221	294	387	359	33.0	31.6	△6.5	34.4
食 堂 セ ッ ト	332	509	660	718	53.3	29.7	8.5	69.8
食 器 戸 棚・サイ ド ボ ー ド・茶 だ ん す	1,560	1,746	1,898	2,060	11.9	8.7	8.7	94.0
腰 掛 机	1,354	1,431	1,303	1,268	5.7	△8.9	△1.9	63.6

(注) 昭和59年の所有数量及び普及率には、農林漁家世帯を含む。増加率の59/54は、農林漁家世帯を含まない数値で算出している。

..... 昭和59年全国消費実態調査結果(速報)から

表一 2 一般家事用品の1,000世帯当たり所有数量, 増加率及び普及率一茨城県・全世帯

品 目	所 有 数 量				増 加 率 (%)			普及率 (%)
	昭 和 44 年	49 年	54 年	59 年	49/44	54/49	59/54	昭 和 59 年
ガス湯沸器	269	636	732	678	136.4	15.1	△7.1	64.4
電子レンジ	—	110	280	531	—	154.5	91.1	49.8
電気冷蔵庫	936	1,076	1,139	1,200	15.0	5.9	4.2	—
(内容積 200ℓ以上)	—	—	808	902	—	—	11.5	81.6
(その他)	—	—	332	298	—	—	△13.9	26.7
電気掃除機	627	951	1,105	1,187	51.7	16.2	7.0	97.6
電気洗濯機	991	1,047	1,082	1,083	5.7	3.3	△1.7	—
(全自動式)	—	—	336	269	—	—	△26.5	24.2
(その他)	—	—	746	814	—	—	9.5	76.7
衣類乾燥機	—	—	—	86	—	—	—	8.6
布団乾燥機	—	—	65	103	—	—	80.0	10.3
ミシン	991	1,039	1,045	1,051	4.8	0.6	1.1	89.0

(注) 昭和59年の所有数量及び普及率には、農林漁家世帯を含む。増加率の59/54は、農林漁家世帯を含まない数値で算出している。

必需品として98.7%の高い普及率を示している。機能別では音声多重放送受信カラーテレビの所有数量が562台で54年の所有数量の4.9倍となっているのに対し、音声多重放送受信以外カラーテレビは1,118台で54年に比べ18.3%減少し、多機能機種テレビに代替されているのがうかがえる。

ラジオカセットは1,124台で、54年に比べ51.4%増と大幅に増加し、また

いる。これら従前から普及している冷暖房器具に代わって温風ヒーター(374台, 118.3%増)ルームエアコン(471台, 48.8%増)などの冷暖房器具の普及が目覚ましく、なかでも冷暖房兼用のルームエアコンの伸びが著しい。(表一3)

(5) ビデオテープレコーダーは約5倍の急増
カラーテレビの所有数量は1,680台で、昭和59年の増加率は13.5%増となっており、54年に比べ鈍化しているが、生活の

表一 3 冷暖房器具の1,000世帯当たり所有数量, 増加率及び普及率一茨城県・全世帯

品 目	所 有 数 量				増 加 率 (%)			普及率 (%)
	昭 和 44 年	49 年	54 年	59 年	49/44	54/49	59/54	昭 和 59 年
太陽熱温水器	—	—	—	152	—	—	—	15.1
扇風機	1,148	1,477	1,631	1,770	28.7	10.4	4.0	95.3
ルームエアコン	23	115	344	471	400.0	199.1	48.8	35.7
(冷房用)	—	—	283	337	—	—	30.7	28.6
(冷暖房兼用)	—	—	61	134	—	—	132.8	9.6
石油ストーブ	1,085	1,452	1,668	1,771	33.8	14.9	1.8	93.0
ガスストーブ	112	134	112	69	19.6	△16.4	△28.6	5.6
電気ストーブ	133	197	299	427	48.1	51.8	52.2	36.4
セントラルヒーティング	4	27	27	41	575.0	0.0	70.4	4.1
電気ごたつ	1,198	1,396	1,603	1,733	16.5	14.8	5.6	97.3
電気毛布	293	883	1,066	1,231	201.4	20.7	8.3	61.2
温風ヒーター	—	—	180	374	—	—	118.3	31.5
電気カーペット	—	—	—	209	—	—	—	18.9

(注) 昭和59年の所有数量及び普及率には、農林漁家世帯を含む。増加率の59/54は、農林漁家世帯を含まない数値で算出している。

■ 調査から

ビデオテープレコーダーは54年の49台から59年は243台へと5年間で約5倍の急増となっている。

(表-4)

(6) 8mm・16mm撮影機は減少

カメラの所有数量は1,283台で、昭和59年の増加率は6.8%増となり、おおむね1世帯に1台を越える所有といえる。

ピアノ、オルガン、スキー、ゴルフセットなどは選択性の高い品目であることから他の主要耐久消費財に比べ所有数量そのものが少なく、普及率もゴルフセットを除いて20%台となっている。

また、54年に比べいずれも増加幅が縮小しており、なかでもオルガンは6.6%減となり、8mm・16mm撮影機は70台で、54年に比べ15.9%の減少を示した。

なお、パーソナルコンピュータは67台で、普及率は6.4%となっている。(表-5)

(7) スクーター・オートバイの所有数量倍増

スクーター・オートバイの所有数量は508台で昭和54年の215台に比べ2.4倍の増加となった。乗用車は所有数量1,060台で増加率は14.9%と昭和54年に比べ増加幅は縮小したものの、所有数量は

表-4 音響機器の1,000世帯当たり所有数量、増加率及び普及率—茨城県・全世帯

品目	所 有 数 量				増 加 率 (%)			普及率 (%)
	昭和44年	49年	54年	59年	49/44	54/49	59/54	昭和59年
カラーテレビ	223	1,063	1,445	1,680	376.7	35.9	13.5	98.7
(音声多重)	—	—	115	562	—	—	381.7	42.4
(その他)	—	—	1,330	1,118	—	—	△18.3	73.3
ステレオ	418	540	662	715	29.2	22.6	10.4	66.4
ビデオテープレコーダー	—	—	49	243	—	—	414.3	23.2
ビデオカメラ	—	—	—	45	—	—	—	4.4
ラジオカセット	—	—	753	1,124	—	—	51.4	79.7

(注) 昭和59年の所有数量及び普及率には、農林漁家世帯を含む。増加率の59/54は、農林漁家世帯を含まない数値で算出している。

表-5 教養娯楽用品の1,000世帯当たり所有数量、増加率及び普及率—茨城県・全世帯

品目	所 有 数 量				増 加 率 (%)			普及率 (%)
	昭和44年	49年	54年	59年	49/44	54/49	59/54	昭和59年
カメラ	918	1,073	1,231	1,283	16.9	14.7	6.8	87.3
8mm・16mm撮影機	58	75	88	70	29.3	17.3	△15.9	7.0
ピアノ	77	132	207	217	71.4	56.8	14.5	21.6
オルガン	209	194	305	289	△7.2	57.2	△6.6	28.1
スキー	—	203	282	307	—	38.9	14.5	21.7
ゴルフセット	93	184	263	380	97.8	42.9	59.3	33.2
パーソナルコンピュータ	—	—	—	67	—	—	—	6.4

(注) 昭和59年の所有数量及び普及率には、農林漁家世帯を含む。増加率の59/54は、農林漁家世帯を含まない数値で算出している。

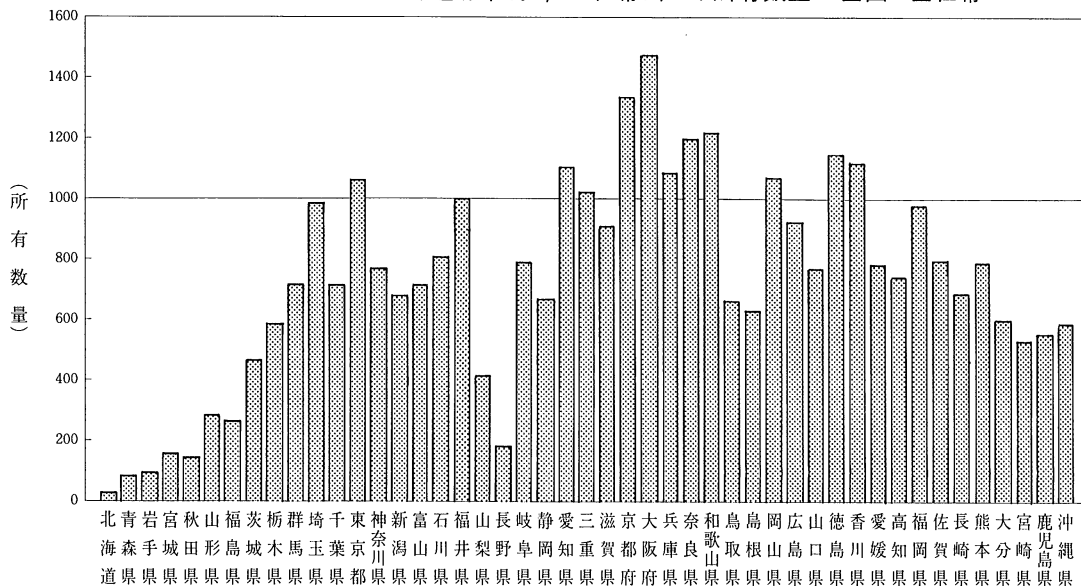
着実に増加している。

一方自転車は1,983台で、59年の増加率は13.5%増と、54年の2.6%減を大幅に上回る伸びを示している。(表-6)

2. 地域別の特徴(全国)

主要耐久消費財の所有形態は、世帯主の年齢や世帯の収入や家族構成の違いによって変わってく

図一 ルームエアコンの都道府県別1,000世帯当たり所有数量—全国・全世帯



るが、地域によってもかなりの特徴がみられる。
 例えば、和だんすは、東北、北陸などで多く所有され、大都市府で少なくなっている。
 また、ガス湯沸器は、都市ガスの普及の高い大都市府で多く、布団乾燥機は、気温、晴天日数、

日照時間など、天候の影響を強く受けて、東北、北陸などで所有数量が多くなっている。
 気象の影響を強く受ける耐久消費財としては、当然ながら冷暖房器具があるが、品目によって地域別の分布にかなりの相違がみられる。温風ヒータ

表一六 乗り物の1,000世帯当たり所有数量, 増加率及び普及率—茨城県・全世帯

品目	所有数量				増加率 (%)			普及率 (%)
	昭和44年	49年	54年	59年	49/44	54/49	59/54	昭和59年
乗用車	335	652	904	1,060	94.6	38.7	14.9	80.2
(新車で購入)	—	—	517	729	—	—	37.9	59.1
(中古車で購入)	—	—	387	331	—	—	△15.8	29.2
ライトバン	—	88	100	118	—	13.6	15.0	10.3
スクーター	315	234	215	508	△25.7	△8.1	100.9	40.9
オートバイ	—	—	—	408	—	—	—	34.5
(その他)	—	—	—	100	—	—	—	9.0
自転車	1,004	1,790	1,744	1,983	78.3	△2.6	13.5	86.8

(注) 昭和59年の所有数量及び普及率には、農林漁家世帯を含む。増加率の59/54は、農林漁家世帯を含まない数値で算出している。

ーは東北、北陸で多く、西南日本で少なくなっており、ルームエアコンは近畿で多く、北海道、東北で少なくなっている。
 (図一)
 (統計課・農林経済グループ)